

郡上農林事務所の普及活動状況

平成 31 年 1 月 31 日現在

今月の重点活動

■女性農業経営アドバイザー 第4回農業女子会を開催！！

郡上市では、市内女性農業者を対象に『第4回農業女子会』を1月22日に開催し、30名が参加した。この会は地域全体の女性農業者のネットワークづくりと資質向上を目的に開催しており、今回は『6次産業化』をテーマとした研修会を開催した。

当日は、岐阜県6次産業化サポートセンターの協力を得て、6次産業化チャレンジ研修に位置づけ2部構成で開催した。

第1部は一般社団法人 日本フードラボ&トレーニング協会代表理事 太地由美氏を講師に招き、6次産業化に取り組む際の重要事項について、実践に基づく幅広い知識から講演を頂いた。また、参加者が作った6次化商品を会場に展示紹介し、講師から商品の評価及び改善点の指摘を頂いた。

第2部は厨房機器メーカーから講師を招き、スイーツ等の加工実習を行った。スチームコンベクションオープンなどの厨房機器を用いた食品加工について実演・試食がなされ、参加者は効率的で美味しい仕上がりに興味深い様子であった。

農業普及課は郡上市と連携を深め、今後も農業経営アドバイザーへの活動支援を継続するとともに、市内女性農業者の活躍を応援していく。



【地域や品目を越え交流】

売れるブランドづくり

■岐阜県GAP確認制度 ひるがの高原だいこん生産出荷組合のGAP審査

ひるがの高原だいこん生産出荷組合では、安全・安心な農産物づくりや環境へ配慮した農業の実践を目的にGAPへの取り組みを進めている。

1月25日、農林事務所の岐阜県GAP審査員が、当該組合の岐阜県GAP確認制度における団体事務局評価審査および施設評価審査を行った。

審査では、出荷組合事務局を務めるJA担当者から団体の活動記録や出荷記録に関する書類の提示を受け、これらを細やかに審査した。また、だいこんの集出荷施設では資材の保管状況や出荷時の荷物の流れなどを確認した。

この組合では、現在生産者3名が県GAPの確認申請をしている状況であるが、今後も県GAP確認制度の拡大を図ってゆく予定である。

農業普及課は関係機関と連携しながら農場評価や改善指導などを行い、県GAP確認者の増加に向けた支援を継続する。



【GAP審査の様子】

■飼料用稲 稲WCSの次年度作付に向けた取組検討会を開催

1月15日に郡上市八幡地域の稲WCS（稲発酵粗飼料）取組検討会が開催された。この検討会は稲WCSを生産する農業法人と使用する畜産農家が次年度の需給量や取引価格、品質について協議するため毎年開催しているもので、今回は農林事務所・郡上市・JAめぐみの等関係機関職員を含めて15名が出席した。

当日は、畜産農家から稲WCSの栄養分析結果を基に品質は良



【取組検討会の様子】

好であったとの評価が得られ、引続き硝酸態窒素を低く抑えて欲しいとの要請があった。一方、農業法人からは作付拡大した場合に畜産農家は受入れを増やす事ができるかとの質問が出された。また、農業普及課は安全な稲WCSを供給するため農薬の適正使用について指導した。

今後も農業普及課では、郡上市やJAと連携しながら良質な稲WCSの生産と地域内消費が拡大するよう支援を続けていく。